栗原地域だより器

第38号 平成30年7月2日発行

	0
〇「茂福久(しげふくひさ)」が、基幹種雄牛としてデビュー	
一脂肪交雑で国内歴代最高ー β	1
○栗原市営深山牧野で放牧が始まりました p	2
〇食中毒にご用心ください! p	2
○消費者啓発パネル展を開催しました! p	3
○2018年夏休み!「みやぎ県北高速幹線道路」親子現場見学会を	
開催します p	4
〇都市計画道路「源光町田線」の工事について p	4
〇 (主) 栗駒岩出山線熊川橋災害復旧工事の完了について p.	5
〇迫川上流土地改良区と真坂土地改良区の「合併予備契約調印式」が	
開催されました p	6
○栗原市瀬峰で「田んぼアート」の田植えが行われました p	6
〇農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p	8



「茂福久(しげふくひさ)」が、基幹種雄牛としてデビュー! 一脂肪交雑で国内歴代最高ー 北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市金成地区の岩渕のり子さんが生産した「茂福久」号(血統:茂洋一安福久一勝忠平)が、5月7日の肉用牛改良小委員会で宮城県基幹種雄牛として選抜されました。

「茂福久」号は、種雄牛の能力を評価する検定で、霜降りの度合い(脂肪交雑)が国内歴代最高(BMS No 10.9)、ロースの大きさ(ロース芯面積)が県内歴代 1 位、上物率(格付けが A5 及び A4)が 100%であり、父牛の「茂洋」号を超える好成績を収めています。

栗原地域からは、既に、「勝忠久」号(栗原市金成産)、「洋糸波」号(栗原市花山産)、「茂洋美」号 (栗原市金成産)といった3頭の基幹種雄牛が誕生しており、「茂福久」号は、栗原地域から生産され た4頭目の基幹種雄牛です。

栗原地域の肉用牛振興は、平成 29 年度に開催された第 11 回全国和牛能力共進会宮城大会で好成績を収めたことによって活性化し、更に、国内歴代最高の成績を収めた基 幹種雄牛「茂福久」号のデビューは、2022 年の第 12 回 鹿児島大会での躍進に向け、栗原産「仙台牛」の肉質維持と評価向上につながることでしょう。

■お問い合わせ 畜産振興部畜産振興班

Tel: 0228-22-2487



基幹種雄牛に選抜された「茂福久」号

栗原市営深山牧野で放牧が始まりました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

5月29日、栗原市栗駒の市営深山牧野が開牧し、牛の放牧が始まりました。放牧は、東京電力福島第1原発事故の影響により一時休んでいましたが、除染作業を実施し、牧草の安全性が確保された平成25年から再開され、今年で6年目になります。今年は、黒毛和種繁殖雌牛117頭が入牧し、徐々にならすための放牧場に放たれ、栗駒山を背景にゆったりと草を食べていました。今後、牛の健康状態や繁殖ステージごとに群分けされ、それぞれ広大な牧野に放牧されていきます。

放牧は牛の足腰を強め、健康で丈夫な牛づくりに大きな役割を果たします。また、放牧期間中の牛の 健康管理のため、定期的に検査も行われます。秋の下牧(閉牧)までには放牧される牛が追加され、牧 野も一段と賑やかになることでしょう。







放牧牛の健康診断



ゆったり牧草を食べる牛たち

■お問い合わせ 畜産振興部畜産振興班 Tel: 0228-22-2487

食中毒にご用心ください!

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

宮城県は、6月15日から7月14日までを食中毒予防月間と定め、食中毒予防の啓発に取り組んでいます。食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、体内に侵入することによって発生します。食中毒を防ぐためには、細菌を食べ物に「つけない」、食べ物に付着した細菌を「増やさない」、食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける」という3つが、食中毒予防の原則です。

- 1 つけない=手洗い!分ける!
 - (1) 調理を始める前。(2) 生の肉や魚、卵などを取り扱う前後。
 - (3) 調理の途中で、トイレに行ったり、鼻をかんだりした後。
- 2 増やさない=低温で保存する!

細菌は 10℃以下では増殖がゆるやかになり、マイナス 15℃以下では増殖が停滞します。

3 やっつける=加熱処理!

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅します。食品中心部を 75℃で 1 分以上加熱することが目安です。



手洗い



冷蔵



加熱

■お問い合わせ 環境衛生部食品薬事班 Tel: 0228-22-2115

消費者啓発パネル展を開催しました!

北部地方振興事務所栗原地域事務所

県民サービスセンターは、消費者被害の未然防止を目的に、消費者トラブルに関する最新の情報を提 供する消費者啓発パネル展を合同庁舎や市役所、学校などで開催しています。

5月9日から18日まで、イオンスーパーセンター栗原志波姫店において、ハガキによる架空請求やイ ンターネットトラブルに関する情報などをパネル展示しました。

毎年5月は、国が定める消費者月間(平成30年度テーマ: 「ともに築こう 豊かな消費社会 ~誰一人 取り残さない~」)です。そこで、5月11日には、栗原市内の消費生活サポーターの方々と一緒に、消 費者啓発物資の配布を行いました。午後3時の配布開始から、1時間で啓発物資200部の配布が終了し、 消費者の関心の高さを感じました。

市内においても悪質な訪問販売や電話勧誘などによる消費者トラブルが後を絶ちません。県民サービ スセンターは、随時、消費者啓発に関するパネル展示や出前講座の申し込みも受け付けていますので、 気軽にご利用ください。



パネル展示の様子



消費生活サポーターによる啓発物資配布

■お問い合わせ 総務部県民サービスセンター 消費生活相談窓口 Tel: 0228-23-5700 2018年夏休み!「みやぎ県北高速幹線道路」親子現場見学会を開催します

北部土木事務所栗原地域事務所

未来を担う子ども達に、土木事業や工事現場等を知ってもらい、関心を持ってもらうため、栗原市内の小学生とその保護者を対象に、「みやぎ県北高速幹線道路」の工事現場において、親子現場見学会を開催します。

見学会では、工事の説明や現場見学のほか、建設機械への搭乗体験(操縦はできません)、測量器械を使ってのゲームなど、楽しいイベントも用意しています。夏休みの楽しい思い出づくりに、ぜひ参加してみませんか。

詳しくは、各小学校に申込用紙(※)を配布していますので、ご確認ください。なお参加ご希望の方は、申込用紙に必要事項をご記入のうえ、期日までにお申し込みください。

- 〇開催月日 平成 30 年 7 月 27 日 (金) 9 時 30 分~11 時 30 分頃
- 〇開催場所 みやぎ県北高速幹線道路(築館萩沢地区)
- 〇申込期日 平成30年7月10日(火)必着(郵送またはFAXで申込み願います。)
 - ※応募多数の場合は抽選となります。
 - ※申込用紙は下記 URL からダウンロードもできます。

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khdbk/2018oyako.html



平成29年度開催状況

■お問い合わせ 道路建設班 Tel: 0228-22-2189

都市計画道路「源光町田線」の工事について

北部土木事務所栗原地域事務所

都市計画道路「源光町田線」は、栗原市築館伊豆三丁目から築館字照越町田に至る、栗原市築館地区のまちづくりを形成する全長約 1.9km の都市計画道路です。

黄金山神社付近から南側までは、既に整備されており、都市計画道路一迫南線までの 214m 区間については、平成 26 年度から事業化し、平成 30 年 3 月に用地買収等が完了しました。

現在、並行する都市下水路の暗渠化に加え、新たに歩道設置を行う道路拡幅工事を進めており、平成30年度末完成を目指しているところです。

工事期間中においては、交通規制や作業等により、地域住民や道路利用者の皆さまにご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。





■お問い合わせ 道路建設班 Tel: 0228-22-2179

(主) 栗駒岩出山線熊川橋災害復旧工事の完了について

北部土木事務所栗原地域事務所

主要地方道栗駒岩出山線の栗原市栗駒稲屋敷地内に架かる熊川橋は、平成27年9月の関東・東北豪雨で落橋する甚大な被害を受けました。

当事務所においては、早期復旧を目指して工事を進め、平成30年6月末に工事が完了しました。 工事期間中は、交通規制や作業等により、通行される皆さまにご不便、ご迷惑をおかけしましたが、 工事へのご理解、ご協力をいただきありがとうございました。



被災状況(上流側より下流側を望む)



工事完了(上流側より下流側を望む)

■お問い合わせ 道路管理班 Tel:0228-22-2179

迫川上流土地改良区と真坂土地改良区の「合併予備契約調印式」が開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

5月23日、迫川上流土地改良区と真坂土地改良区の合併予備契約調印式が市内のホテルグランドプラザ浦島で開催されました。

土地改良区は、土地改良法に基づき設立され、土地改良事業の実施、土地改良施設や農業用水の管理、 さらに国営・県営事業の負担金徴収や造成施設の維持管理等を担っています。

農業をめぐる情勢の変化などから土地改良区は運営の厳しさが増して、組織の効率化による運営基盤強化が求められており、県では平成26年2月に「宮城県土地改良区組織運営基盤強化推進基本方針」を策定し、県内の土地改良区の合併を推進しています。

こうした中、迫川上流土地改良区と真坂土地改良 区は、管理する区域や組合員が重複していることか ら、これまで合併に向けて準備を進めてきました。

調印式では、両土地改良区の理事長と、立会人である関係市の市長及び県北部地方振興事務所長が合併予備契約書にサインし、迫川上流土地改良区が真坂土地改良区の財産や事業を継承することなどが取り決められました。

今後、両土地改良区では、11 月末の合併認可を 目標に、8 月に総代会を開催し、9 月に国への認可 申請を行う予定です。



合併調印式

■お問い合わせ 農業農村整備部管理調整班 Tel: 0228-22-2398

栗原市瀬峰で「田んぼアート」の田植えが行われました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

6月9日に、栗原市瀬峰泉谷で「田んぼアート」の田植えが行われました。

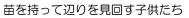
「田んぼアート」は地域の農業者などで構成される「瀬峰田んぼアート実行委員会」が主催し、今年で11回目を迎えます。瀬峰地区では、上質な堆肥を使用して環境にやさしい栽培方法で育てた農産物を「エコ・せみね」のブランド名で販売しており、「田んぼアート」はその認知度向上と、食と農と地域を結ぶ絆を深め合うことを目的としています。

当日は晴天の下で小学生を含む約 60 人が、苗が倒れないように土に挿すこと、間隔を開けて植えることなどのアドバイスを受けながら、今年の図柄となる東北楽天ゴールデンイーグルスのマスコットキャラクター「クラッチ」を、紫稲や黄稲を使って元気に描きました。

田植え後には、皆で田んぼを眺めながら「エコ・せみね米」を使ったおにぎりなどをおいしそうにほおばりました。

「田んぼアート」は、東北本線の田尻駅-瀬峰駅間の線路沿いにあり、電車の車内からも眺めることができます。7月中旬頃が見頃となるので、ぜひお越しください。







田植えをする子供たち



田んぼを前に集合写真

■お問い合わせ 農業振興部地域農業班 TEL: 0228-22-9404

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

北部地方振興事務所栗原地域事務所

4月1日から6月15日までの間に農林産物 59 点の放射能検査を行い、すべてが食品の基準値 (100 ベクレル/kg) 以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心 してお召し上がりください。

なお、栗原市産のこごみ、こしあぶら、たらのめ(野生)、野生きのこの4品目の山菜類は、出荷制限指示を受けており、市場や直売所等には出荷できません。

(原木しいたけ(露地), たけのこについても、出荷制限が続いています。ただし、これらは一部地域(登録生産者)のみ出荷できる状況です。詳しくは林業振興部にお問い合わせください。)

☆放射能検査の測定値が基準値以下であったもの(4/1~6/15)

以別的代目の別と他の空中他以下						
農産物			産物 林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
かぶ		0	うど (2点)			0
キャベツ (3点)		0	うるい		0	
きゅうり(3点)	0		しどけ			0
じゃがいも(2点)		0	たけのこ(17点)			0
ズッキーニ (5点)	0		たらのめ(2点)		0	
スナップエンドウ		0	ふき (3点)			0
だいこん (4点)		0	みず (3点)			0
たまねぎ (2点)		0	わらび			0
チンゲンサイ		0				
C 5		0				
にんじん		0				
ねぎ (2点)		0				
葉タマネギ		0				
二十日大根		0				
ブロッコリー		0				

◎:基準値以下 —:検査未実施

 ※放射性セシウム濃度基準値

 食品群
 基準値(1kg あたり)

 飲料水
 10 ベクレル

 乳児用食品
 50 ベクレル

 牛乳
 50 ベクレル

 一般食品
 100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を ご覧ください。

(http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437 (農産物)

林業振興部 林業振興班 Tel: 0228-22-2381 (林産物)

発行:宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 (地方振興部)

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1

Tel: 0228-22-2195(直通) Fax: 0228-22-6284

E-mail: nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html